

科目名	バッグ実習Ⅲ-A	整理番号	
学科	ファッションクラフトデザイン学科	期	通年
コース	バッグコース		昼間
学年	3年	授業形態	講義 20 % 実習 80 %
時間数	360	作成者	片山知佳

【科目の到達目標】

バッグの制作方法を理解した上で各々の制作方法に合った細部の加工作業ができ、またそれを生かしたオリジナルデザインの作品を制作することができる。バッグ特有の縫製技術を活かしたデザインでよりクオリティの高い作品を制作することができる。

【科目の概要】

バッグの総合的な技術と知識を活かし、質の高い作品作りを目指す。

【授業計画】

90分/コマ

1～6	プレタ展出品制作 プレタ展出品制作	91～96	展示作品制作
7～12		97～102	上コレ出品制作 1点 染色課題の素材によるバッグ制作
13～18		103～108	
19～24		109～114	
25～30		115～120	
31～36		121～126	
37～42	バッグメーカーとのコラボ作品	127～132	
43～48		133～138	卒業課題制作
49～54		139～144	
55～60		145～150	卒業課題制作
61～66	課題1(スワローマチ)	151～156	
67～72		157～162	
73～78		163～168	
79～84		169～174	
85～90	テスト	175～180	テスト

【成績評価方法】

課題作品60%、修了テスト20%、平常点20%

【教科書・参考書】

プリント配布

【教材・教具】

縫製用具一式、製図用具一式、指定のはさみ、ピンセット、ライター、刷毛

科目名	バッグ実習Ⅲ-B	整理番号	
学科	ファッションクラフトデザイン学科	期	通年
コース	バッグコース		昼間
学年	3年		講義 20% 実習 80%
時間数	60	作成者	橋本みずえ

【科目の到達目標】

バッグのパターン技術の習得

・デザイン画・写真を見て生徒自身で考える力を身に着ける事。

【科目の概要】

バッグの型紙の基礎から型のバリエーション、ディテールなどの知識を習得する。

【授業計画】

90分1コマ	前期	後期
1・2	型紙レベルチェック ・型紙の作り方の基礎確認 ・マチなしトート ・通しマチトート	16・17 ポストンバック 18・19 三日月型バック 20・21 リュック ・かぶせ付き・巾着タイプ
3・4・5	切り替えバリエーション ・マチなしポーチをベースに	22～28 アレンジデザイン 3型 ・原寸図面と型紙
6・7・8	ディテールバリエーション① ・横マチトートをベースに (コーナー・根革・ハンドル)	29・30 テスト
9	内装バリエーション (ベタポケ・Fポケット・ペン差し)	
10・11	フォルムバリエーション ・マチ付きポーチベース (胴・マチ・天マチ)	
12・13・14	ディテールバリエーション② (ダーツ・タック・ギャザー)	
15	テスト	

【成績評価方法】

課題作品60%、修了テスト20%、平常点20%

【教科書・参考書】

【教材・教具】

製図用具一式

科目名	コンピュータ演習 Ⅲ	整理番号	
学科	ファッションクラフトデザイン学科	期	通年
コース	バッグコース		昼間
学年	3年	授業形態	講義 20% 実習 80%
時間数	120	作成者	鶴 鉄雄

【科目の到達目標】

自分で「考える習慣」を身につける事で、実社会で活躍できる人材を育成する。

【科目の概要】

情報の4段階「D・I・K・W」を学んできたデザイン企画に適用して自主的なトレーニングを実践する。
情報デザインの考え方を理解したうえで、他者視点の獲得を目指して学びを深める。

【授業計画】

90分/コマ	前期	後期
1, 2	ガイダンス、スキルチェック	31, 32 他者視点のハイブランド企画
3, 4	ポートフォリオ①	33, 34 情報の4段階「D・I・K・W」調査
5, 6	ポートフォリオ②	35, 36 調査対象の選定
7, 8	情報の4段階「D・I・K・W」調査	37, 38 【トレンド8感性】 エレガンス系、ロマンティック系、エスニック系、 カントリー系、アクティブ系、マニッシュ系、 モダン系、ソフィステケート系
9, 10	調査対象の選定	39, 40 【スタイリングテーマ】 エレガンスリッチ、ソフトフェミニン、エスニックカ ントリー、アクティブスポーツ、トラディショナル ベーシック、コンテンポラリーキャリア
11, 12	【素材】 PVC、PU、本革、エナメル、スエー ド、キャンパス、ナイロン、ポリエス テル、	41, 42
13, 14	パリスティック、コーデュラ、その他	43, 44
15, 16	予備調査	45, 46 予備調査 調査設計
17, 18	調査設計	47, 48 調査実施 データ分析 Data 化
19, 20	調査実施	49, 50 データ可視化 Information 化 データから得られた知見 Knowledge化
21, 22	データ分析 Data 化	51, 52
23, 24	データ可視化 Information 化	53, 54 発表ポスター作成(学会または業界) □
25, 26	データから得られた知見 Knowledge化	55, 56
27, 28	プレゼンテーション	57, 58 ハイブランド企画プレゼンテーション
29, 30	発表ポスター作成(学会または業界)	59, 60 まとめ
	まとめ	

【成績評価方法】

提出物評価60% テスト30% 授業態度10%
以上を指導要項の認定要項に基づいて総合的に評価する。

【教科書・参考書】

PDFを配布

【教材・教具】

パソコン、スマートフォン

科目名	ファッションビジネス概論	整理番号	
学科	ファッションクラフトデザイン学科	期	通年
コース	バッグコース		昼間
学年	3年	授業形態	講義 30% 実習 70%
時間数	60	作成者	木場憲志

【科目の到達目標】

商品知識・計数知識・MD力を養い物作りから店頭までのプロセスを理解し実戦力を身に付ける事ができる

【科目の概要】

ネット通販での売上が増えている今、販売方法の変化、対面サービスのありかた、ショップの今後を見据えながらマーケティング、プランニングを時代背景を踏まえてアドリブ、アレンジ力、柔軟性を持つ能力を養う時流を見据えて先を考える力を身につける

【授業計画】

90分/コマ	前期	後期
1	ファッションビジネスの知識	16 市場調査の分析の仕方
	販売ビジネスの今、業界のプロセス、	17 市場調査のまとめ方
	アパレル、小売の現状を理解	18 市場調査発表
2	世界について	商品知識
	世界観を持つ	副資材・加工方法・機能素材・機能性
	宗教、貨幣、歴史、文化等も知る	等について説明
3	マーチャндаイジングのストラクチャーについて	19 イメージショップの発表 問題点指摘
		20 秋冬基本定番素材について
4	ファッションの変化予測について	テスト
	月次商品計画の組み立て方	21 今年よく見受けられた商品動向のまとめ方
	売れ筋商品の予測の仕方	22 編地の基本 セーター&カットソー
5	計数知識	編地・ゲージの基本、製品サンプルにて
	計数知識の基礎と演習	説明、ゲージ別アイテムPCにて作成
	テスト	
6	イメージショップの立案	23 店頭計画6カ月分のMD構築について
	年間売り上予定を計算	24 前週の続き
	予算の組み立て方	25 売れ筋商品の見方
7	月末、月初の収支計算	売れ筋商品の動向について
8	ショップネーム立案	26 まとめ・小テスト
	コンセプト、アイテム比率、プライス構成	27 総まとめ
	立案	28 これからの市場について
	テスト	
9	前週の検討と指摘、修正	29 ファッション傾向
	店頭商品構成と展開についての内容	30 テスト
	説明	
10	春夏基本定番素材について	
	仕入れ商品台帳について	
11	オリジナル商品台帳について	
12	SKUについて	
13	前週の続き	
14	コンセプトに合ったショップの組み立て方	
	トレンドの分析の仕方と傾向	
	今年の商品動向について	テスト
15	繊維製品について	
	工程、コスト、サイズ、ディテールの基本	

【成績評価方法】

作品(的確性、完成度、プレゼンテーション・提出期限日) 60% 授業態度 10% 試験 30%

【教科書・参考書】

プリント配布・ファッション販売(Ⅱ)

【教材・教具】

筆記用具・計算機・ハサミ・ノリ・A4orB4クリアーファイル

科目名	染色Ⅱ	整理番号	
学科	ファッションクラフトデザイン学科	期	前期
コース	バッグコース		昼間
学年	3年	授業形態	講義 10% 実習 90%
時間数	60	作成者	長田 綾美

【科目の到達目標】

デザインの感性を高め作業を計画的進めて行く能力を養う。

染料と繊維の関係を学ぶ。

平面構成、色彩構成力を養う。テキスタイルデザイン画の基礎を学ぶ。

【科目の概要】

私たちの生活空間に存在する多くの染色物のそれぞれの多様な染色技法を理解するためにテキスタイルデザイン画の制作を通じて シルクスクリーン、ステンシル、マーブリング等の染色技法を使い 手作りを基本とした実習で生地や革素材等を染めながら修得します。

【授業計画】

90分/コマ

前期

- 1 テキスタイルデザイン概論。 アナログ制作からコンピューターによる思考と表現までのテキスタイルデザインの変遷について。
- 2 平面構成、色彩構成力を養う。
- 3 パース表現、ドローイングを学ぶことにより空間、立体表現力を養う。
- 4 同上
- 5 構成手法を学ぶ。 バランス、リズム、プロポーションについて。
- 6 構成手法を学ぶ。 ムーブメント、シンメトリー、デフォルメ、リザナンス(共振)について。
- 7 テーマ設定し計画を立てた上で作品を制作する。 デザイン画制作。
- 8 デザイン画を完成させる。
- 9 シルクスクリーン、マーブリング等の技法でデザイン画をもとに皮革、生地等にプリント。
- 10 同上
- 11 同上
- 12 染色作品を完成させる。 合評。
- 13 アイデアのきっかけとなる資料収集。整理、分類。
- 14 基本的な造形表現に加えテキスタイルデザインの基礎を学ぶ。
- 15 抽象的表現。点、線、面を中心としたデザイン画の制作。
- 16 同上
- 17 具象的表現。植物、動物、建築、大自然などを中心としたデザイン画の制作。
- 18 同上
- 19 抽象的表現と 具象的表現を組み合わせたデザイン画の制作。
- 20 同上
- 21 これまでのデザイン画をもとに染色作品を制作する。
- 22 同上
- 23 同上
- 24 作品を完成させる。 合評。
- 25 自由制作。 テーマ設定は各々自由。これまでの染色技法やデザイン力を活かして制作する。
- 26 同上
- 27 同上
- 28 同上
- 29 同上
- 30 染色作品を完成させる。 合評。

課題作品評価60%、期末試験・小テスト30%、平常点10%

【教科書・参考書】

【教材・教具】

科目名	商品研究Ⅱ	整理番号	
学科	ファッションクラフトデザイン学科	期	通年
コース	バッグコース		昼間
学年	3年	授業形態	講義 20 % 実習 80 %
時間数	60	作成者	野田 光晴

【科目の到達目標】

研究を通して市場の現状を理解し、商品の新たな需要や価値を創造し提案できる

【科目の概要】

マーケットリサーチ 企業見学 工場見学 コラボ商品や海外展示販売などの製作・提案を行う

【授業計画】

90分/コマ		前期	後期
1	アパレル業界概要と就職指導	16	価格設定①価格の内訳
2	ポートフォリオⅠ	17	価格設定②原価計算
3	ターゲットの設定とマーケット細分化	18	価格設定③レートと運搬費・関税
4	競合ブランドとの分析	19	トレンド企画① スタイリングからのデザイン
5	企画の特徴とオリジナル性	20	トレンド企画② スタイリングからのデザイン
6	分析からの商品構成	21	店頭企画 顧客情報からのデザイン
7	素材、フゾク、色・柄／販路と販売方法の重要性	22	販売促進企画 期中デザイン ①
8	ポートフォリオⅡ作品集	23	販売促進企画 期中デザイン ②
9	デザインイメージの作成方法	24	アパレルから学ぶ企画Ⅱ アレンジデザイン①
10	作品撮影と見せ方①見出しと内容	25	アパレルから学ぶ企画Ⅱ アレンジデザイン②
11	作品撮影と見せ方②コンセプトイメージ	26	アパレルから学ぶ企画Ⅱ 各月打ち出しデザイン①
12	ページ構成：構成と編集	27	アパレルから学ぶ企画Ⅱ 各月打ち出しデザイン②
13	完成	28	アパレルから学ぶ企画Ⅱ 各月打ち出しデザイン③
14	まとめ	29	まとめ
15	テスト	30	テスト

【成績評価方法】

平常点(授業態度)10% 課題作品60% 理解力30%

【教科書・参考書】

【教材・教具】

科目名	海外研修	整理番号	
学科	ファッションクラフトデザイン学科	期	前期
コース	バッグコース		昼間
学年	3年	授業形態	講義 50% 実習 50%
時間数	120	作成者	杉山 佳美

【科目の到達目標】

・イタリア、ハイブランドを基準としたブランディング、製造方法の習得。

【科目の概要】

・イタリア提携校 アルストリア校にてハイブランドのブランディング、マーケティングを学び、チームで企画したブランドプレゼンテーションをする。

・フィレンツェ提携校：パラッツォプッチにて、現地講師の指導のもと、コレクションデザインしたバッグを制作する。ラグジュアリーブランドの歴史の講義、会社見学を通じ製造や機械のレベルの高さを学ぶ。

【授業計画】

90分/コマ

前期

1～16	ブランディング・マーケティング講義
17～20	デザインアイデアについて講義
21～24	アルマーニ博物館見学
25～28	リナシェンテ リサーチ
29～32	コレクション組み立てについて講義
33～40	企画ミーティング
41～76	プロダクト制作
77～84	プレゼンテーション
85～92	フィレンツェ市内リサーチ
93～100	トスカーナ地方歴史 講義
101～104	会社見学
105～108	会社見学
109～112	会社見学
113～117	会社見学
117～120	アウトレットモールリサーチ

【成績評価方法】

現地授業での平常点 帰国後レポート提出

【教科書・参考書】

【教材・教具】